

福島県教育旅行ジャーナル

Fukushima Prefecture Educational travel journal

Vol.7
平成26年3月発行

発行責任者 福島県観光交流課
〒960-8670 福島県福島市杉妻町2-16
TEL:024-521-7286 FAX:024-521-7888
E-mail:tourism@pref.fukushima.jp

編集 教育旅行再生のための調査・情報発信事業事務局
〒963-8032 福島県郡山市字下亀田17番地の7(隼・プロジェクト内)
TEL:024-934-5020 FAX:024-935-0760
E-mail:kyoiku.travel@leprojet.co.jp

福島県内では地域の自然や文化をいかした、特色ある教育旅行が実施されています。今回ご紹介するのは、震災直後の2012年から被災地の現状を知ることがを目的とし、東北方面で研修旅行を実施している福岡県立修猷館高等学校です。福島の今を見て、聞いて感じた生徒たちは、さまざまなことを学びました。

被災地の「明日」を創るために、私たちができること

宮城県と福島県で東北研修旅行を実施 福岡県立修猷館高等学校

今回の東北研修旅行は、平成26年1月6日から9日までの3泊4日の日程で宮城県と福島県で行われました。「明日を創る」というテーマのもと、生徒たちが自ら研修コースを考案しており、震災当時の話を聞くだけではなく「被災地の今」と今後の復興へ向けた取組みや課題を知り、日本と自分自身の未来を考えることに焦点を置いた内容となっていました。生徒たちが福島県で過ごした3日目と4日目の行程について詳しくご紹介します。

東北研修旅行行程

行き先 宮城県、福島県 実施日 平成26年1月6日(月)～9日(木) 人数 2年生 365名

1日目 平成26年1月6日(月)

福岡空港
・飛行機:約1時間30分
羽田空港
・京急空港線、山手線:約35分
東京駅
・東北新幹線:約1時間40分
宮城県仙台市
仙台市内被災地訪問
・東北自動車道:約40分
宮城県蔵王町

2日目 平成26年1月7日(火)

宮城県蔵王町
スキー研修

3日目 平成26年1月8日(水)

A班	B班①	B班②
<p>スキー研修</p>  <p>・東北自動車道、磐越自動車道バス:約2時間10分</p>	<p>宮城県蔵王町</p> <p>福島県会津若松市</p> <p>・会津藩校日新館見学 ・鶴ヶ城見学 ・大熊町役場会津若松出張所訪問</p>  <p>・東北自動車道、磐越自動車道バス:約1時間50分</p>	<p>福島県いわき市</p> <p>・東北自動車道、磐越自動車道バス:約2時間</p> <p>福島県いわき市</p> <p>・久之浜海岸視察 ・浜風商店街視察 ・オーガニックコットン収穫体験</p>  <p>・東北自動車道、磐越自動車道バス:約2時間45分</p>
福島県いわき市		

4日目 平成26年1月9日(木)

福島県いわき市
スパリゾートハワイアンズでグループトーク



・常磐自動車道、首都高速湾岸線バス:約2時間45分
羽田空港
・飛行機:約1時間30分
福岡空港

3日目 B班① 歴史学習 会津若松市研修コース

会津若松市での歴史学習では、現代に受け継がれる歴史や会津の精神を学ぶため、鶴ヶ城や会津藩校日新館を見学しました。その後、原発事故の影響で、大熊町から会津若松市に避難している町民のために開設された、大熊町役場会津若松出張所を訪問し、震災当時の様子を聞き、復興に向けた町づくりに挑む人々の姿を目の当たりにしました。

① 会津藩校日新館見学
●会津藩校日新館
幕末会津藩の教育を担った機関です。当時の学習の様子の見学や、弓道、座禅体験などができます。
バス:約20分

② 鶴ヶ城見学
●鶴ヶ城
赤瓦と五層の天守閣で、会津若松市のシンボルです。天守閣内部には貴重な歴史資料が展示されています。
バス:約5分



③ 大熊町役場会津若松出張所訪問
●大熊町役場会津若松出張所
原発事故の影響で、大熊町から会津若松市に避難生活を送る住民に対する行政サービスを行っています。
バス:約40分

3日目 B班② 震災学習 いわき市研修コース

いわき市の久之浜地区を訪れた生徒たちは、久之浜海岸で津波被害が残る現場を視察し、当時の被害の大きさを学びました。浜風商店街では、復興に向けて前進する商店街の人々と交流を行いました。その後、被災地復興のためのボランティア活動として、耕作放棄地でのオーガニックコットン収穫に参加し、復興に力添えする人々の思いや、地域の取組みを学びました。

④ 久之浜海岸視察
●久之浜海岸
初日の出の名所である海岸です。震災時の津波により、多くの被害がありました。現在は復旧作業が行われています。
バス:約10分

⑤ 浜風商店街視察
●浜風商店街
津波被害に負けず、仮設店舗で復興に向かう商店街の人々と交流することができます。
バス:約40分



⑥ オーガニックコットン収穫体験
●いわき市小名浜地区復興支援ボランティアセンター
震災後の耕作放棄地で、農業再生を目指し、塩害に強いオーガニックコットンを栽培しています。収穫などのボランティア活動に参加できます。
バス:約40分

生徒たちが訪れた浜風商店街やオーガニックコットン収穫体験について、詳しい情報が裏面に掲載されています！ぜひご覧ください！